

# 白井市健康づくり推進協議会

日時：令和6年9月2日（月）13:30～15:30

会場：市役所本庁舎2階 災害対策室

## <要点会議録>

### 【次第】

- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議 題
    - (1) 第3次しろい健康プラン 令和5年度の実績・評価について
      - 1) 健康増進計画
      - 2) 食育推進計画
      - 3) 歯科口腔保健推進計画
      - 4) 自殺対策計画
  - 4 閉 会
- 

【出席者】大久保会長、瀬野副会長（Zoom での出席）、甘利委員、石井委員、飯尾委員、飯田委員、萬谷委員、山口委員、堀江委員

事務局：池内健康子ども部長、竹内健康課長、山田主任保健師、児島主任栄養士、今井主任保健師、小林主任保健師、鈴木主事、井上保健師  
荒木主任保健師、戸田係長、三笠主任保健師

【欠席者】押田委員、榊原委員、北村委員

【傍聴者】0人

---

### 【内 容】（進行：会長）

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ  
大久保会長よりあいさつ  
会議運営の説明（説明：事務局）
  - (1) 飯田委員自己紹介（新委員のため）、健康課職員自己紹介
  - (2) 欠席委員の報告
  - (3) 会議成立の確認

委員の出席が過半数を超えるため、白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、会議が成立する。

(4) 配布資料の確認（進行：事務局）

1) 事前配布資料

- ① 次第
- ② 委員名簿
- ③ 資料1 第3次しろい健康プランの評価について
- ④ 議題1 第3次しろい健康プラン 令和5年度の実績・評価について
- ⑤ 資料2 第3次しろい健康プラン 事業実績
- ⑥ 資料3 第3次しろい健康プラン めざそう値の達成に向けた経過一覧表

2) 当日配布資料

- ① 議題1 差し替え
- ② その他資料（受動喫煙防止について）

(5) 会議の趣旨と進め方について

1) 会議の趣旨

報告をした実績と評価をもとに、各委員からの質問や意見を受け、今後の健康プランの推進に活かす。

2) 会議の進め方

4計画について、各計画7分ずつ令和5年度の実績・評価について報告を行う。その後各計画15分ずつ質疑応答、意見交換を行う。

### 3 議 題（進行：会長）

(1) 議題1 第3次しろい健康プラン令和5年度の実績・評価について（説明）

議題1、資料1・2・3を基に、各計画担当より説明をした。

(2) 質疑応答等

1) 健康増進計画

①ロコモティブシンドローム予防事業について

委員

ロコモティブシンドローム予防事業の実績において、事業計画が非常にうまく行われている。その中で「骨密度測定会」は他の事業と比較すると参加人数が多い。参加人数の多い事業と抱き合わせることで、参加者の少ない事業の参加率が上がり、人員の拡大の一助になると思うので、抱き合わせを今後考えてみてはどうか。

事務局

「ロコモティブシンドローム予防事業」は、セミナー、ロコモ度テストと骨密度

の測定を行うため1回の参加可能人数を多くすることは難しいが、深く学べる機会を提供している。「あかちゃん育児相談」では、毎月のあかちゃん育児相談という事業の中で、来所された親を対象に骨密度測定と健康教育を行うため、元々接点の少ない若い世代へのアプローチに繋がっている。「なるほど行政講座」は、市民からの依頼を受け、市民が自身の仲間や自治会に声をかけて参加者を募って実施されるものとなり、骨密度測定と健康教育を行うため、市民の自主活動を支援している。「骨密度測定会」は、今年度、民間企業の協力を得て店舗で実施しているため実施人数はさらに増える見込みであり、今後企業の協力を得て、さらに参加人数を増やすことで充実をはかっていきたいと考えている。

#### 委員

市では民間の協力を得て事業を実施していくことが推進されているため、そのような取り組みがあればもっと参加人数を増やし、拡大していけると思う。

### ②ロコモティブシンドローム予防事業について

#### 委員

ロコモティブシンドローム予防事業について、この事業が必要となる人・受けてほしい人は、人口からすると実績の人数よりももっと多いのではないかと。難しそうな講座よりも、ふるさと祭りのような場へ気軽に来て、楽しみながら健康になってもらうといった、本当に必要な人へ事業が周知されるような方法については今後考えているのか。

#### 事務局

今年度からLINEでの周知をスタートした。掲載する画像については、より親しんでもらえるよう、秘書課と連携しながら吟味している。文言についても、多くの人の心に響くような、楽しく明るい表現になるよう工夫をしている。「ロコモティブシンドローム予防事業」と「骨密度測定会」についてはLINEで周知をすると共に、他の事業に参加された方へ直接お顔を見ながら事業の説明・周知をしている。ふるさとまつり等のイベントの活用などについては、今後の参考にさせていただく。

#### 事務局

資料2、19番のCOPD予防教室に関して、受動喫煙やたばこによって起こるCOPDの認知度を上げるという意味で予防教室を行っているが、関心のある参加者しか集まらないこともあるため、令和5年度からふるさとまつりで教室を開催している。

しかし教室形式だと関心のある人へしか情報が届かないということもあるため、令和6年度は民間企業の協力を得て、ふるさとまつりへ出店し、多くの方に興味をもってもらえるような啓発をしていきたいと考えている。

### ③重点的取り組みについて

#### 委員

市全体を上げてのPRが十分でない。例えば、他市の取り組みとしてポイントを活用した事業がある。そのような事業を特に重点的取り組みから始めることで認知度が高まれば良いと思う。また、広報等での周知はされているが、それに対しての市民の反応はどうか。人が集まる事業にもう少し力を入れることで、興味がある人だけでなく、興味がない対象者も引き込んでいくことにつながるのではないかと。広報についても重点的取り組みについてはスペースを大きくとるなどの方法があると思う。

#### 事務局

各計画担当も力を入れて周知活動をしているが、まだまだ十分ではないということだと理解した。健康課として重点的に取り組んでいるということが市民にはっきりとわかるように更にアピールするという考え方を今後の参考にさせていただく。

## 2) 食育推進計画

### ①市民農園について（資料2 No. 31）

#### 委員

実績では0か所とあり開設には至らなかったとあるが、白井市内には市民農園はあるのではないかと。この評価についての詳細を伺いたい。

#### 事務局

白井健康プランにおける市民農園については、基本的に開設支援という形になっている。今回開設支援をした件がなかったということで把握をしている。現在の市内の市民農園の数については議事録を送る際に回答したい。

#### 委員

今回の健康プランの中で、1か所を開設支援するという計画を立てたが、相談だけで開設には至らなかったという理解で良いか。

## 事務局

毎年1か所開設支援をしていくという目標になっている。産業振興課が窓口となっており、相談はあったが開設には至らなかった。

## 委員

民間でも農園を開設していると思うが、その現状と具体的に市民への告知をしていけば、市民からの応援にも繋がると思う。

## 事務局

市としてホームページに掲載しているのは、平塚のえびちゃん農園と、折立のふるさと農園の2か所となっている。

## 委員

市で掲載しているということであれば、農園を使いたいと言う市民からのリクエストも受けられるようなマッチングも必要なのではないか。

## 事務局

市ホームページからは、メールや電話での問い合わせも可能となっているため、必要であればそちらからの問い合わせとなる。

②実施したが、当初の目標値には至らなかった事業について（議題1、資料2）

## 委員

資料2のホームページ閲覧が530回以上と記載されているが、詳細としては何回なのか。また、ホームページの閲覧数として530回は少ないと思うが、もっと増やしていくための取り組みについて知りたい。

## 事務局

前年度実績の514回をもとに算出したものとなり、目標値であるため、詳細の回数設定は設けておらず、530回以上としている。また、閲覧数を増やすための取り組みについては、毎月1回広報に掲載しているおすすめレシピに、過去のおすすめレシピも掲載しているホームページのQRコードを付けることで、より多くの市民がおすすめレシピを閲覧できるように工夫した。

## 委員

ほかの職域でも言えることで前回の会議でも伝えたが、白井市の広報活動が非常に充実してきて、素晴らしいという話はしているが、逆に具体的にどんな努力をしているのかというところをはっきりしていかないといけない。発信力がもっとあってもいいと思う。レシピにQRコードを載せることは非常にいいアイデアだと思う。ただ言えるのは、何かおかずに困った時に白井のレシピページを見ればいい、というくらいのレシピのものにしないといけないと思う。ある程度レシピの数がないとそこにアクセスしないと思う。

## 事務局

おかずに困った時に市のホームページを見るというのは、とても理想的だと思う。令和5年度からホームページの他にも、店頭野菜コーナーにも野菜たっぷりレシピを置くという試みをしている。そういったレシピもホームページに随時掲載しているので、よりよく市民が頼りにしてくれるようなレシピの提供ができたらと思う。

## 3) 歯科口腔保健

### ①歯周疾患検診受診率について

## 委員

歯周疾患検診受診率について、3.4%はかなり低いと思う。これに対して後期高齢者歯科検診は54.6%と大きく異なっている。対象の方の関心・受診率向上のための周知等は何か検討しているのか。また、今年度から20歳、30歳も対象となり、年齢が広がった。現在歯周疾患検診は11月までの実施だが、例えば4月から3月まで、1年をとおして受診できるようにするなど、検討の余地はあるのか。

## 事務局

特に40歳の受診率が低いことを受け、今年度は40歳の対象者へ全数通知をし、申込をしなくても受診ができるようにしたため、今年はその経過も見ていく。もしそれが効果的であれば、20歳、30歳へ拡大をすることも検討されると思う。また、ふるさとまつりでの検診申し込みについても検討中である。

## 委員

歯磨き指導などを体験するブースや、体験された方へ歯ブラシなどをプレゼント

する用意があると、より市民の注目度があがるのではないか。また、テントの場所についても入口近くの方が良いと思う。

事務局

歯磨き指導を歯科衛生士の方で行うことを検討している。テントのスペースも令和5年度と同じように確保する予定。歯ブラシ等のサンプルについては、今年度も準備をしているが、先着順になる可能性がある。協定を締結している明海大学の学生の協力を得てチラシを配布したり歯科口腔保健を知ってもらうための取り組みを今年度も大学と調整中。

#### 4) 自殺対策

##### ①自殺対策ネットワーク会議について

会長

議題1の資料について、美容室のスタッフ向けにゲートキーパー養成講座をやってはどうかという意見があるが、これはどのような経緯なのか。

事務局

自殺対策ネットワーク会議の委員からの意見で、他市町村の事例をもとにして提案していただいた。美容室のスタッフは、客の話を聞く機会が多く、定期的に通う中で客の変化に気付くことができるため、ゲートキーパー養成講座を行うような取り組みがあった。ゲートキーパーは特に資格は必要ないので、相談支援に関わっている民生委員や地区社協、子育て支援に携わってくださる方以外に今後対象を広げていきたいと考えている。

委員

資格は必要ないということだが、講座を受講したというバッジがあれば、その店舗はゲートキーパーとしての役割もあるということがわかるのではないか。

事務局

ゲートキーパー養成講座については、普段相談支援に従事している方を対象に行っているところなので、普段の仕事や活動に加えての自殺予防の支援を取り入れてほしいという趣旨で行っている。受講者には修了証を渡しているが、バッジのように見える形での証明も検討していきたいと思う。

委員

中学生も自殺が多いが、中学校区でも講座は行っているのか。

事務局

学校教育関係では、SOS の出し方の教育等を小中学校で行うことで自殺対策に取り組んでもらっている。また、保護者向けの周知として、データで相談先等の情報提供をしている。

副会長

周知について、インターネットだけでなく、広報といった紙媒体など様々な方法がある。広報に力を入れるために広報部門など専門的なチームをつくるという取り組みは可能なのか。

事務局

市として広報は秘書課が中心として担っており、健康に特化して健康課の中で部門をつくるということは現時点での回答は難しい。集中的に周知していくことや、効果的な周知方法について考えることは今後の参考にさせていただく。

#### 4 その他報告事項、事務連絡

##### (1) 受動喫煙防止について

事務局より当日配布資料のその他方向資料について説明

(質疑応答)

委員

駅前でタクシーの運転手が喫煙しているところを見かけるが、喫煙の監視員はどのくらいの頻度なのか。

事務局

監視の頻度など、詳細は決まっていないが、委員の意見を踏まえて調整をしていきたいと考える。

##### (2) 議事録、来年度の予定について

議事録は事務局の方で作成し、各委員へ郵送する。各委員に確認していただいた後、個人情報伏せをうえて情報公開コーナーやホームページに議事概要を公開す

る予定である。

次年度は令和6年度の実績に加え、次期4次計画策定に向けての意見交換を予定しているため、年2～3回の会議を予定している。また改めて来年度お知らせする。

## 5 閉会

以上